

UFB水の検証バブル直径測定

令和3年8月

資料ナノバブル水生成方法：原水は水道水

原水を500nmフィルターを通し、清浄水として使用（循環フィルタリング）

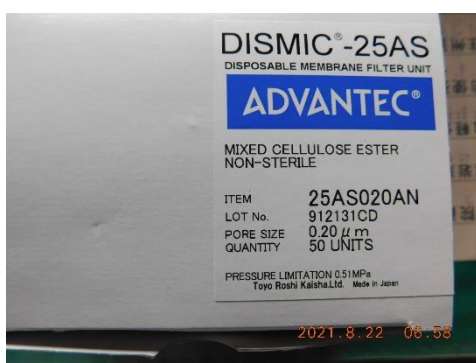
18リットル貯水タンクを使用

1時間循環させ、100倍程度に濃縮（所要時間1時間）

普通捻り翼は0.5MPa、大捻り翼は0.6MPa

測定前フィルターリング

200nmフィルターで大きな雑ゴミの除去を実施



200nmフィルター



シリンジに装着状態



ウルトラファインバブル水の製造濃縮装置



「微小粒子測定装置多検体ナノ粒子径測定システム nanoSAQLA」

大塚電子製の「微小粒子測定装置多検体ナノ粒子径測定システム nanoSAQLA」を用いて測定実施 所要時間3分

測定結果

最小直径23.1nmの観測に成功した。

結果データは次の通り

200nmフィルターの効果でノイズ粒子が除去され、23.1nmの極小直径バブルの測定に成功した。フィルター操作は非常に有効である事がわかる。